

2020年度 大阪電気通信大学高等学校 自己評価・学校関係者評価 報告書

1 めざす学校像

(1) 教育目標

- 一. すべての生徒に確かな知識を与えよう
- 一. 人間の生き方を教える教育をしよう
- 一. 心身ともに健康な生徒を育てよう

(2) 各科・コースの特長 (2020年度のコース)

普通科

進学コース (1学年は進学総合コース)

高大連携プログラムを通して、自分の適性を探究する。大阪電気通信大学進学を基盤に、理系・文系の学びを通して、幅広い進路選択を行う。

健康スポーツコース

学習と部活動を両立させ、スポーツを通して健康科学を学ぶ。大阪電気通信大学健康スポーツ科学科をはじめ、体育・スポーツ系、医療・福祉系などへの進学を目指す。

工学科

理数コース

工学科専門科目を通して、思考力と実践力を養い、電子情報技術を習得する。数学、英語、理科を中心に学力を強化し、国公立大学や難関私立大学などへの進学を目指す。

医療電子コース

医療と工学を学ぶ。大阪電気通信大学へ進学することで、臨床工学技士、理学療法士を目指すことができる。

デジタルゲーム開発コース

C言語プログラミングにてゲームプログラミングの基礎と応用を学び、ゲーム開発エンジンを用いて3Dゲームを開発する。大阪電気通信大学デジタルゲーム学科等への進学を目指す。

電子情報コース

(1学年は工学連携コース)

電気・電子・情報・ロボティクスなどについて学び、大阪電気通信大学工学部、情報通信工学部等への進学を目指す。

2 中長期的目標

生徒の確保に向けた特色ある高校づくり

- ・ 生徒募集および退学者数の削減
- ・ 大阪電気通信大学との連携強化と特色ある学校づくり
- ・ ICT教育の推進

「知」「徳」「体」を基本とした教育の実践

きめこまかい指導の充実

3 2020年度の取り組み内容および自己評価

	重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
授業を大切にし、 確かな知識を与える	<ul style="list-style-type: none"> ●新コースを軌道に乗せ、2022年度新入生から適用される新カリキュラムを策定する。 ●本校教育三目標にそった教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ア・カリキュラム委員会を組織し、新カリキュラムを策定する。 イ・生徒との面談、家庭との連絡を密にするなど、離学率の低減に努める。 ウ・様々な課題に対応すべく、校内の研修会を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ア・新カリキュラム策定完了 イ・離学率 3%台 ウ・教職員の年末研修会、年度末研修会への参加率 95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ア・新カリキュラムを校内でまとめた。(○) イ・4.1% (×) 本年度は増加。基礎学力の定着、カウンセリングの実施等により改善を図りたい。 ウ・年末研修会参加 96%、年度末研修参加 98% (○)。

<p>心身ともに健康な生徒を育てる</p> <p>人間の生き方を教え、</p>	<p>●「基本的な生活習慣を確立させる指導」「マナーや礼儀の指導」「非行の未然防止」「生活指導部主催行事、および生徒会活動を通じての学校の活性化を図る。</p>	<p>ア・基本的な生活習慣を確立させる。 イ・交通ルールを守らせ、自分のみならず他人の生命をも尊重させる。 ウ・いじめを防止する。 エ・課外活動を奨励する。</p> <p>オ・資格検定取得や部活動での活躍を促す。</p>	<p>ア・皆勤者数全体の2割 遅刻者数は生徒一人年間1回 イ・交通事故0件 ウ・いじめ指導処分件数0件 エ・部活動部員数が全生徒数の3分の1 オ・生徒活動奨励賞60件</p>	<p>ア・皆勤賞288名中26名、遅刻件数1612名(×)。効果的な遅刻指導を模索する。 イ・交通事故1件(×) 啓発活動を継続する。 ウ・0件(○) エ・445名(○) オ・98件(○)</p>
<p>生徒一人ひとりに適した進路を実現する</p>	<p>●生徒に応じた学習支援を行い、学習の成果を実感させ、進路相談、キャリア教育を行いながら、進路について目標を立て実現に向かう力を育成する。</p>	<p>ア・個々の希望進路に応じたきめ細かい進路指導を行い、希望進路の実現をさせる。また高い進学率を達成する。 (懇談等で、一人一人きめ細かい進路指導を実現する。進路の手引きの有効活用や、保護者向け進路説明会等で、希望進路実現に向け意識を高める。また外部模試を全員受験し進学意識を高める。)</p> <p>イ・「総合的な探求の時間」を活用したキャリア教育(オープンキャンパスへの参加、資格取得の奨励、志望動機の確立等)の企画実施。併設の「大阪電気通信大学」の体験授業、体験実習、その他文系大学の体験授業を行い、興味、関心、適性の模索を行う。</p>	<p>ア・進路決定率95%以上 4年制大学進学率 70%以上 進路説明会各学年1回以上の実施、大学/専門学校説明会(3学年)の実施 外部模試(年3回)実施 イ・大阪電気通信大学、その他文系大学の体験授業を行う。 大阪電気通信大学の体験実習を行う。</p>	<p>ア・進路決定率 97% (○) 4年制大学進学率 76% (○) 大阪電通大説明会(各学年1回)、大学/専門学校説明会(3学年)の実施(○) 外部模試(年3回)の実施(×) 2回の実施であった。 イ・体験授業の実施(○) 体験実習の実施(×) コロナのため、中止となった。</p>
<p>志願者にとって魅力的な学校をめざす</p>	<p>●十分な入学者数を確保し、運営基盤を強固なものとする。</p>	<p>ア・入学者数を確保する。 イ・生徒募集活動(各種説明会等)を充実させ、本校の魅力をアピールする。 ウ・ものづくりやプログラミング、部活動体験などを通じ、本校教育について理解を得る。</p>	<p>ア・入学者336名 イ・本校入試説明会700件参加 ウ・体験学習参加300名</p>	<p>ア・450名(○) イ・本校入試説明会789件参加(○) コロナ禍により、事前予約制とした。 ウ・体験学習参加377名(○)</p>
<p>安心安全な教育環境の整備と持続可能な学校運営をめざす</p>	<p>●事業計画および活動計画に基づき、教育や募集活動に配慮する一方、継続的諸経費を見直すなど持続可能な学校運営に努める。 ●生徒増に伴い、教育環境の改善、および教室改修工事を進める。 ●ICTを活用する。</p>	<p>ア・本校耐震化100%を実現する。 イ・ブロック塀の改修工事を実施する。 ウ・普通教室の設置と生徒相談室の拡充。 エ・校内無線LANを整備する。</p>	<p>ア・耐震工事完了 イ・特に危険な箇所の改修完了 ウ・改修工事完了 エ・文科省の補助金を活用し、設置工事完了</p>	<p>ア・食堂棟工事完了(○) イ・メッシュ仕様への変更により大幅なコストダウンを実現した。(○) 次年度以降引き続き改修を進める。 ウ・(○) エ・2021年度から本格的に開始するICT教育に先立ち、全ての教室からインターネットへ接続が可能となった。(○) 次年度は専任教員にタブレットPCを貸与し、授業等での活用を推進する。</p>

		オ・新型コロナウイルスの影響により遠隔授業に対応する。	オ・対応完了	オ・プロジェクト設置の予算を遠隔授業対応の機器整備（PC、書画カメラ）に充当した。（○）
		カ・業務目的別予算体系を導入する。	カ・2021年度予算申請に合わせて予算体系を見直し完了	カ・個別調達項目を積み上げた体系から、業務目的ごとに予算管理できる体系に移行した。（○）

4 学校関係者評価委員会

学校評価アンケート・生徒アンケート・保護者アンケートの分析	学校関係者評価委員会での意見
<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラスは居心地が良かった」、「学習についての質問やいろいろな相談に丁寧に応じてくれた」、「遅刻や欠席に対して熱心に指導した」という項目についての評価が高く、多くの生徒にとって学校生活が安定していると感じている。 ・「電通高校生としての誇りをもつことができた」、「生徒会活動が活発であった」という項目についての評価が低く、生徒一人ひとりが活躍できる場が少なかったと感じている。 ・施設、学校行事、朝学、高大連携等の項目の評価が低い。施設などは難しい面も多いが、行事、朝学、高大連携の検討は必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「居心地が良い」という生徒が多いとのことであるが、担任や部活動顧問以外の教員もよく生徒を観察し、見守ってくださっている。 ・高大連携の内容は良い。 ・生徒、保護者から校舎の老朽化について指摘されている。以前からこのような声が上がっているが、課題があると思う。詳細なものだけでなく、改修のプランを立ててもよいのではないか。 ・女性用のトイレがきれいになりうれしい。女子生徒を増やすには必要なことである。
<p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「必要な情報が有効に発信されていた」、「教職員の保護者への対応は適切であった」、「子どもに仲の良い友人ができた」という回答が多く、総じて「電通高校に入学させて良かった」という項目について高い評価を得た。 ・「他校にない独自の教育活動に取り組んでいる」、「学校行事は充実していた」という項目に対する評価は低かった。旧態依然の行事も多く、今回の体育祭のように見直しを検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーに説明会などで情報発信をしていただけるので保護者としては感謝している。 ・保護者向けの進路関連の行事は回数が多く、保護者にとって負担となることを学校は懸念していたが、評価が高くて良かった。 ・新型コロナの状況にもかかわらず、様々な行事を思い切って開催していただきありがたかった。自分の子どもを入学させて良かったし、保護者の間でも兄弟で入学させたいとの声を聞いている。アンケート結果どおりの印象である。 ・新型コロナの影響で担任との直接のコミュニケーションが減っている。恒例の後援会の社会見学会も実施できなかった。今後、代替行事や交流できる場があれば良い。
<p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『生活指導』や『家庭との連携』という「生徒指導」や『カウンセリング体制』、『進路保障』という「生徒支援」について多くの教職員が意欲的に取り組んでいると評価している。 ・ゴミ・リサイクル・省エネなど環境問題意識向上についての教育に対する取り組みは非常に消極的であった。 ・教員研修の項目が全般的に低い評価となっている。初任者研修、教員サポート体制などについても検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの担任が早朝から夕方まで電話対応している。中には「思っていた勉強内容ではなかった」「何をしたいか分からない」「不登校傾向」の生徒もいる。 ・社会の変化に伴い、多様な生徒への対応も必要になっている。 ・様々な生徒が入学しており、業務としての担任の苦労があると思う。多様な生徒に対応できる仕組みづくりも必要ではないか。

【分析】

- 学校行事への内容変革が必要である。校則については世間の動向を見ながら柔軟に変更していくことが求められる。クラブ活動加入率は増加しているが、生徒会活動は衰退している。制服等への評価も低いに変更後に期待したい。
- 基本的な生活習慣や日常生活のマナー向上には保護者の協力が必要である。生徒本人に任せた高校生活では限界があり、さまざまな説明会等で伝える必要がある。学校行事、制服等に変更後に期待したい。
- 部活動は活発に行われるようになってきている。学校行事変革には教員の協力体制が必要である。生徒指導は組織的に対応できている。遅刻指導は教員全体の協力が必要である。また、服装、髪型等身だしなみは教員によって指導差が生じている。挨拶は向上しているがマナー指導（携帯）には教員差があり不公平である。
- 新しく様々なコースができたことにより、普通科・工学科でより踏み込んだ学習が出来る体制が整って来た。また、大阪電気通信大学との連携は本校にとっての強みである。一年生の時から自分の進路についての意識付けが必要である。
- さらに学校行事の充実化や生徒会活動の活発化、学力不振者に対するアフターケアなどが求められている。
- 地域から見て、電通大高校の生徒たちは荒れた様子もなく、部活動の生徒達が学校付近の清掃などをしており非常に喜ばしく思っている。
- 学校の設備の面では、古いブロック塀が撤去されフェンスになった。以前から気になっていたが、対応されて良かった。
- 有名校になろうと思えば野球などで有名にならないといけないと聞いた。電通大高校もさらに有名になれば、地元もうれしい。
- 上の子どもの時と比べて、進路指導部が発行する「進路の手引き」が詳しくて驚いた。情報提供は適切に行われていると感じる。
- 進路状況について、地元の中学校校長はどこまで知っているのか。地元の中从から本校に進学してもらえるようにアピールするべきではないか。
- 生徒たちは来客者にも挨拶をしてくれるので気持ちが良い。
- 授業時間の大変多い学校もある。魅力ある学校であるために、生徒たちのさらなる学力向上に取り組む必要がある。